

資料C①②③ F①②③ のいずれか

ひとつの施策/事業を評価するためのロジックモデル

02. がんの早期発見およびがん検診 中間アウトカム①用のシート

資料C①



1. ひとつの施策/事業を評価するためのロジックモデル」内の調べたい数値の指標番号は、資料BまたはEの指標番号に紐づいています

4. 評価支援シートで表示された数値を、ご自身の評価に使用している「ひとつの施策/事業を評価するためのロジックモデル」に書き込みます。ロジックモデルの指標番号1つに対して、評価支援シートでは複数ある場合があります。ここでは、指標番号だけでなく、指標の内容を確認しながら転記しましょう。

資料B②またはE② がん対策地域別データ集・評価支援シート
(電子ファイル <https://cpsum.org/summit18> > 評価支援シート)

資料B①またはE①

指標番号	指標名	指標内容	情報源	がん	大腸がん	胃がん
02-F01	臨床進行度分類における早期がん(臓器)の割合	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」(全国がん罹患モニタリング集計(MCJ))	臨床進行度分類: 2015年 膵臓 (%)#29 臨床進行度分類: 2015年 膵臓 (%)#30 臨床進行度分類: 2015年 膵臓 (%)#31 臨床進行度分類: 2015年 膵臓 (%)#32	臨床進行度分類: 2015年 膵臓 (%)#29 臨床進行度分類: 2015年 膵臓 (%)#30 臨床進行度分類: 2015年 膵臓 (%)#31 臨床進行度分類: 2015年 膵臓 (%)#32	臨床進行度分類: 2015年 膵臓 (%)#29 臨床進行度分類: 2015年 膵臓 (%)#30 臨床進行度分類: 2015年 膵臓 (%)#31 臨床進行度分類: 2015年 膵臓 (%)#32	臨床進行度分類: 2015年 膵臓 (%)#29 臨床進行度分類: 2015年 膵臓 (%)#30 臨床進行度分類: 2015年 膵臓 (%)#31 臨床進行度分類: 2015年 膵臓 (%)#32
02-M01	がんによる死亡者が減る	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」(全国がん罹患モニタリング集計(MCJ))	死亡者(男)(%) (75歳未満, 年齢調整, 人口10万対)#13 死亡者(女)(%) (75歳未満, 年齢調整, 人口10万対)#14	死亡者(男)(%) (75歳未満, 年齢調整, 人口10万対)#13 死亡者(女)(%) (75歳未満, 年齢調整, 人口10万対)#14	死亡者(男)(%) (75歳未満, 年齢調整, 人口10万対)#13 死亡者(女)(%) (75歳未満, 年齢調整, 人口10万対)#14	死亡者(男)(%) (75歳未満, 年齢調整, 人口10万対)#13 死亡者(女)(%) (75歳未満, 年齢調整, 人口10万対)#14
02-M02	がんが早期に発見される	国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」(市区町村におけるがん検診の実施状況調査)	検診: 受診率(男)(%)#67 検診: 受診率(女)(%)#68	検診: 受診率(男)(%)#67 検診: 受診率(女)(%)#68	検診: 受診率(男)(%)#67 検診: 受診率(女)(%)#68	検診: 受診率(男)(%)#67 検診: 受診率(女)(%)#68

2. 指標(指標番号)ごとの該当データが、がん対策地域別データ集のどこにあるかを「今回用意できたデータ」(1.2行目オレンジセル)の列に、データ集項目番号を示しています。

資料B②またはE② がん対策地域別データ集・都道府県表、二次医療圏表
(電子ファイル <https://cpsum.org/summit18> > 評価支援シート)

表	A	E	CI	CJ	CK	CL	CM	CN
表	都道府県表(胃がん)	都道府県表(胃がん)	都道府県表(胃がん)	都道府県表(胃がん)	都道府県表(胃がん)	都道府県表(胃がん)	都道府県表(胃がん)	都道府県表(胃がん)
項目番号	0	7	7	7	7	7	65	
分野	基本	早期発見対策	早期発見対策	早期発見対策	早期発見対策	早期発見対策	早期発見対策	早期発見対策
項目名	地域名	受診率(男)(%)	受診率(女)(%)	検診受診率(男)(%)	検診受診率(女)(%)	検診受診率(男)(%)	検診受診率(女)(%)	実施した市区町村割合(%:対国市区町村)
	北海道	8.0	9.2	40.4	40.4	40.4	40.4	100.0
	青森県	19.1	20.6	47.8	47.8	47.8	47.8	100.0
	岩手県	16.3	17.3	47.8	47.8	47.8	47.8	100.0
	宮城県	17.3	19.1	55.5	55.5	55.5	55.5	100.0
	山形県	12.1	12.7	49.8	49.8	49.8	49.8	100.0
	福島県	23.4	25.5	60.0	60.0	60.0	60.0	100.0
	千葉県	12.0	15.8	52.1	52.1	52.1	52.1	100.0

3. この上のシートでたどり着いた数値を、ロジックモデルに書き込む作業を、指標ごとに繰り返します。そうすると、ロジックモデルのアウトカム部分の指標値が埋まります。本サミットでは、時間短縮のために、がん対策地域別データ集、がん診療行為データ集、患者体験調査報告書(平成30年度調査)から、ワンクリックで探したい数字を引っ張ってこられるツール「評価支援シート」を開発いたしました。図の赤点線部分はそのイメージです。

つまり...評価支援シートを作成してしまえば、データを探す手順を省略して、各分野のアウトカム指標値をワンクリックで取ることができます。この図の左半分の作業を下から上へ進めばできてしまう...ということです。より詳しく取り組みたい方は、右半分もトライしてみてください。